



学校だより

おりひがっこ

子どもたち一人一人が笑顔で過ごす学校をめざして



さむさにまけないぞ！

1月31日(火)の中休みから、全校児童で、マラソン運動に取り組んでいます。時間になると、音楽にのって、運動場のトラックをひたすら走ります。「5週走ったよ！」息を弾ませた子ども達の表情は明るくて前向きです。マラソンなどの運動は、体力向上、持久力・耐性などを伸ばします。今年度の体力テストでは、高学年は握力(ものを握る筋力)、低学年は、立ち幅跳び(跳躍力・柔軟性・平衡感覚)の数値が優れているという結果が出ました。

また、いつも感心していることですが、折尾東小の子ども達は、掃除をしっかり頑張ります。6年生から1年生まで、寒い日でもごみを掃いたり、ぞうきんがけをていねいにしたり、本当によく働いています。子ども達は、そうじの時も明るいよい表情でやっています。子ども達の姿を見ながら、当たり前のことを、当たり前前にきちんとしていくことはとても大切なことだと感じます。



マラソン運動の様子



2学期末のなかよしそうじ



けん玉が上手になってきました：1年生

1年生が生活科の学習の中で、昔遊びに取り組んでいます。けん玉、お手玉、羽子板、たこあげなど、楽しそうに熱中してやっています。私も、けん玉の師匠として1年生と一緒に活動させてもらいました。けん玉は、ひざの柔らかさ・力の入れ具合・抜き具合・集中力・タイミング・目と手の協応など、いろいろな要素が必要です。小さな子にはそれが難しく、玉をぶんぶんふりまわしてしまうことが多いです。1年生もはじめはそうだったのですが、熱心に練習を重ね、みるみる上達してきました。「師匠、見てください！」とにこにこしてやって見せます。大したものだと感心しています。これから先が楽しみです。

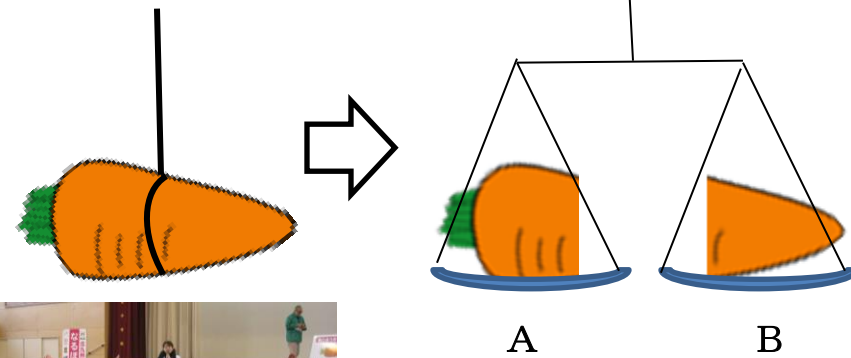
けん玉などの昔遊びは、テレビゲームと比べては何ですが、子ども達が成長するうえで大切な力を養うことに役に立つように思います。



なるほど計量教室：3年生

北九州計量事務所の事業で、3年生が「なるほど計量教室」を1月27日(金)にさせていただきました。(これも希望校が多くてなかなか当たらないのですが)本校体育館でクイズや実験などを行いながら、子ども達に量や重さなどの概念を養ってもらおうという取り組みです。数量の概念は、算数科の中でもなかなか身に付きにくいものです。小学校段階では具体的に体験させていくことが有効です。小学校の3~4年生は、9歳(10歳)の壁と呼ばれる抽象的な思考が大きく発達する時期です。子ども達は考えることを楽しみながら取り組んでいました。

Q：1本のニンジンを糸でぶら下げて、水平になるようにします。糸をつるしたところから左右に2つに切ると、切ったニンジンは左右、同じ重さでしょうか？



- () Aが重い
- () Bが重い
- () 同じ重さ

(答えは次号で・または3年生に聞いてください。)



北九州計量事務所の皆様が、「折尾東小学校の3年生の子ども達は話の聞き方がとてもよいですね。」とほめてくださいました。